



# 革製品中のビスフェノールS及びFの定量分析

革製品中のビスフェノールS(BPS)及びビスフェノールF(BPF)を定量いたします。

## 革製品に含まれるBPSおよびBPF

ビスフェノールA(BPA)は内分泌かく乱物質として人体への影響が懸念されています。このBPAの代替物質として、しばしばBPSやBPFなどの他のビスフェノールが使用されますが、これらの物質はBPAと非常に類似した特性を持っていることから、EUでは人体への影響の懸念から高懸念物質(SVHC)に特定され、製品の含有濃度0.02%の規制が設定されています。輸出製品に含有有無の確認が求められ、また今後、国内で規制の対象物質になる可能性があります。

BPSは革の再なめし剤の原料として用いられています。またBPFは再なめし剤の合成時の副産物として生成されることがわかっており、これらは革製品に残留している可能性があります。

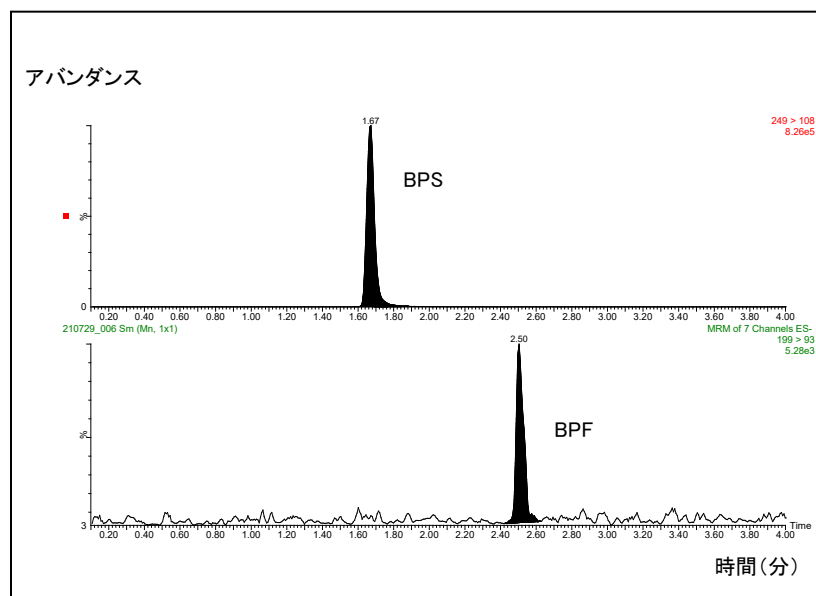
## 分析例

当社では、様々な材料を対象とした有害規制物質分析の実績から、革製品中のBPSおよびBPFの含有量をLC/MSMS法にて定量いたします。

化合物名 (略称)	Cas No.	測定方法	報告下限値 (検体による)
BPS	80-09-1	LC/MSMS	10ppm～
BPF	87139-40-0	LC/MSMS	10ppm～



LC/MSMS装置



標準物質のLC/MSMS抽出イオンクロマトグラム  
(BPS:  $m/z$ -249 > 108, BPF:  $m/z$ -199 > 93)



関連リーフレット: 3E4J-027-00 ビスフェノールA及びSの定量分析



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2021 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。